

関係者の皆様

たちばなの園白系台
施設長 漆原尚幸

新型コロナウイルス感染検査の陽性者の新たな発生状況について(3-第2報)

日頃から、当施設の事業運営にご協力いただいておりますこと、感謝申し上げます。

さて、標記の件について2月28日付けの第1報で、新たに介護職員2名及びご利用者1名の抗原検査結果が陽性となりましたことを、下記の概要のとおりお知らせしましたが、厳重な対策を講じていることなどから、1次感染から本日までの7日間で更なる陽性者は発生していないことをお知らせします。また保健所からも、事業休止の指導等をいただいておりますので、当施設の特養、ショートステイ及び居宅支援の3事業は、この間も継続しております。

なお、ショートステイは、厳重な対策を講じる中、引続き、初日に検温や当施設の抗原検査等を実施し、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。

記

—2月28日付け第1報の概要—

1 抗原検査結果陽性が判明した状況

家族にPCR検査結果が陽性になった方がいると当施設の4階介護職員Aに連絡があり、直ちにAに当施設による抗原検査を実施した結果は陰性でしたが、体調を確認したところ喉に軽度の違和感などがあったため、直ちに帰宅し、医療機関でPCR検査を受けるよう指示し、明1日にこの結果が判明することとなっていました。(1日のこの結果は陽性でした。)

昨27日、同じく4階の他の介護職員Bから熱はないが喉が痛いという申出があったため、Bに対しても、直ちに当施設による抗原検査を実施したところ陰性でしたが、帰宅し、医療機関に受診し、PCR検査及びできる限り抗原検査も行うよう要請するように指示しました。この後17時に、38℃の熱がある旨連絡を受けました。本日、Bから抗原検査結果が陽性の旨の報告を受けました。

この結果を受け、Aに対して一刻も早く検査を要すると判断し、Aが当施設まで来園できるということであったので、当施設の抗原検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

一方、この間37℃前半くらいの微熱のあるご利用者が6名いたこともあり、4階の全職員及び全ご利用者に当施設の抗原検査を実施したところ、ご利用者1名が陽性が判明しました。

2 本件の対策について

これまでの職員等の陽性者発生に伴う手指消毒などの一般的な対策のほか、空調室内機の運転量の増加や公共交通機関を使用せず自家用車等の乗合通勤の奨励などの特別な感染症対策も実施しておりました。これに加え現在、4階全体を他の階と導線ができる限り重複しないようにするとともに、陽性となったご利用者の居室にはバルコニーから出入りすることとしています。

また、他のすべての職員及びご利用者に対しても、頻繁に検温を実施し、37.0℃～37.5℃が継続するなどの方にも抗原検査の対象にしております。

なお、第3回ワクチンは18日までに接種している方が大半です。

<本件のお問合せ先> たちばなの園白系台(電話:042-358-0221)

特別養護老人ホーム(定員86名)…… 廣田

短期入所(定員14名)…………… 佐藤

居宅支援事業……………長谷川